

桐光会へのお礼メッセージ(2017年度秋学期)

#1

この度は、桐光会修学支援奨学金を給付してくださり、誠にありがとうございました。父の持病が悪化し、家計的にこのまま大学生として学修するには厳しい状況で、卒業出来るか不安でした。その時、桐光会奨学金制度を知り採用して頂けることとなりました。御支援のお陰で目白大学の学生として勉学に勤しむ事が出来るようになりました。今後は、以前から大学院への進学を目標としていましたので、より一層桐光会奨学生として努力し、将来的に社会に貢献出来るよう努めていきたいです。簡単ではありますが、最後に桐光会の皆さま、加えて学生課の方々、本当にありがとうございました。

英米語学科奨学生本人

#2

この度は桐光会修学支援奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。経済的に厳しいため家族に頼ることもできず、自分で働いても学費を払うことが出来ないと困っていた際にこの奨学金制度があることを知り、今回申請致しました。それまで学費のことを毎日考え悩んでいたのが、採用していただけることになった時は本当に嬉しく思いました。採用されるまでは学費のためにアルバイトを優先し、授業が疎かになってしまったり、レポートやテストにしっかり取り組めていなかったりと、学業に専念することができていませんでした。しかし、今回この修学支援奨学金に採用していただいたおかげで心にもゆとりができ、以前よりも学業中心の学生本来の生活が送れていると思います。このような機会を与えてくださった皆様に心から感謝申し上げます。教育後援桐光会の会長様・皆様、この度は本当にありがとうございました。

社会情報学科奨学生本人

#3

この度は、桐光会奨学生に採用していただきまして、誠にありがとうございます。私は母子家庭で今まで育ってきて、あまり経済状況にゆとりのない中、母が職を失い、失職中のとき桐光会奨学金のお陰で授業を受け続けることができました。行事の準備をすることの多い学科のためにあまりアルバイトの時間を長くはとれなく、困っていた中、桐光会奨学金が大きな支えになりました。これからは、保育者になれるように、より一層勉学に励みます。本当にありがとうございました。

子ども学科奨学生本人

#4

この度は桐光会奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。本奨学金を得て、学業が続けられることを大変嬉しく思っております。私は短期大学部の2年で、内定が決まり春から就職致しますが、母が病気がちで秋学期の支払いが難しく大変困っておりました。本奨学金のおかげで残りの授業料が払えます。このようなご支援を頂けたことに心から感謝しています。卒業までの時間、安心して勉学に励めることに感謝の気持ちを持ちながら、充実したものにさせたいと思います。末筆ながら皆様に重ねてお礼を申し上げるとともに、皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

ビジネス社会学科奨学生本人

#5

この度は桐光会奨学金制度に採用して頂き、誠にありがとうございました。家庭の経済状況が苦しい状況でしたが、生活支援奨学金制度にご支援していただけることとなり、大変感謝しております。支援していただいた御礼を忘れず、残りの学生生活も一生懸命勉学に励んでいきたいと思っております。そして、病気で苦しんでいる方に優しく寄り添うことのできる看護師になります。桐光会の皆様、お力添えを頂いた事務職員の皆様に心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

看護学科奨学生本人

#6

この度は桐光会奨学金に採用して頂き、誠に有難うございました。両親ともに再就職が困難な状況である上に、祖母の介護と妹の大学進学が重なってしまい大変経済的に困難な状況が続いていました。少しでも親の負担を減らしたいという思いで申請させて頂きました。今は大学卒業に向けて論文を作成するとともに講義を熱心に受けております。大学4年間を通して学んできた小学校教員としての知識や技術を生かして来年から始まる教員としての生活も常に努力していきます。皆様の温かいご支援への感謝を忘れないよう残りの学生生活を送っていききたいと思っております。末筆ながら、桐光会の会員の皆様のますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

児童教育学科奨学生本人

#7

いつも一方ならぬお引き立てを心より感謝申し上げます。この度は、桐光会修学支援奨学金の申請を認めてくださり、誠にありがとうございました。この奨学金で最後まで大学生活を送ることができ、家庭の経済状況も大幅に良くなり、学費などの負担が大きく減少いたしました。母ともに大変嬉しく感じております。また感謝の気持ちでいっぱいです。末筆ながらますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

心理カウンセリング学科奨学生本人

#8

この度は、桐光会奨学生として採用していただき誠にありがとうございました。私の家は母子家庭で母親の持病も悪化した関係により学納金を全額用意することが難しく、私のアルバイト代や日々の貯金、父親や親戚に頭を下げて返すことを約束し前借したお金や日本学生支援機構の奨学金から捻出しておりました。そこで、今回の桐光会奨学金を知り、少しでも日々の負担が軽くなればと思い応募させていただきました。今回の応募や前回の応募でも、困っているのは決して私だけではないはずですが、私を採用していただけたからには、より一層勉学に励み充実した学園生活にしていきたいと思っております。親身に相談に乗ってくださった事務職員の方々をはじめ、選考してくださった桐光会の方々に深く御礼申し上げます。ありがとうございました。

看護学科奨学生本人

#9

この度は、桐光会奨学金に採用して頂き誠に有難うございました。学費を担ってくれていた母が病気で倒れ、納金する事が困難となっていた状況の中、桐光会奨学金の事を知り、採用して頂き感謝致します。今回、このような形でご支援を頂いた事により、家庭全体の経済面、また精神的な面でも大きな助けとなりました。心から御礼申し上げます。残りの学生生活も、最後まで勉学、その他の部分においても、より一層励んでいきたいと思っております。桐光会の皆様、支援して下さいの方々、重ねて御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

日本語・日本語教育学科奨学生本人

#10

この度は桐光会修学支援奨学金への申請を受諾していただき、ありがとうございました。奨学金の採用が分かった際に祖母も手術への決心がついたようで、12月中に手術を受けることになり、家族も安心しております。私に至りましてもアルバイトの時間数を減らすことができたため、卒業論文並びにTOEICで800点を目指すための勉強に邁進することができております。間もなく卒業するに当たりまして学ぶことが主である学生が終わりますが、社会人になりましても目白大学の学生として学ぶ時間をいただけたことへの感謝を忘れず、日々の学びを大切に来年度から客室乗務員へ挑戦していきます。この度は本当にありがとうございました。

英米語学科奨学生本人

#11

この度は桐光会奨学金に採用して頂き誠にありがとうございます。4年の秋学期になり私は今回で2度目の採用になります。私の家庭は幼い頃父を亡くし、母も病にかかり数年間働けておらず経済的に困難な状況です。アルバイトの収入等で学納金を収めておりましたが、就職活動が長引いた事で学納金を収める事が困難な状況でした。現在は就職活動も無事に終わり、卒業までの残り半年一層勉学に励む所存でございます。桐光会の皆様、学生課の皆様に心より御礼申し上げます。

韓国語学科奨学生本人

#12

この度は、桐光会奨学金に採用していただき誠にありがとうございました。母子家庭で家計が苦しい状況でしたが、奨学金を採用されたことで、これからの国家試験の勉強に専念することができます。お陰様で無事卒業後の就職先に内定は頂くことができましたが、学納金を収めることが困難で卒業できるかがとても不安でした。大学生活も残すところ4か月となりましたが、多くのことを学ばせていただきました。残りの大学生活も作業療法士の国家試験を合格できるように、勉強を一層努めていきたいと思っております。最後に繰り返しになりますが、桐光会の奨学金に採用していただき誠にありがとうございました。卒業後も目白大学卒業生として恥じぬように、作業療法士として社会に貢献していきたいと思っております。

作業療法学科奨学生本人

#13

この度は、修学支援奨学金に採用して頂きありがとうございました。父が早期退職をしてから、家計は非常に苦しく、何とか家族皆で力を合わせて進学することができていました。今年自身は自身の就職活動の為、思う様にアルバイトが出来ず、来春から始まる社会人生活はもちろん、日常においても不安と隣合わせで過ごしていました。今回、採用の結果を頂けたことで家族への負担を減らすことが出来ただけでなく、内定先の企業にいち早く貢献できる様、勉学に励む環境を得ることができました。桐光会の皆様、お力添え頂いた職員の皆様に厚く御礼申し上げます。

社会情報学科奨学生本人

#14

この度は、桐光会奨学生として採用して頂き誠にありがとうございます。10月末に父が転倒し、急遽入院することとなってしまいました。父は6年前にも脳出血で倒れており、その際に重度の障害が残ってしまった為、退職をし、それ以降は障害厚生年金でぎりぎりではありますが、生活をしてきました。しかし、今回の突然の入院により、学費用にと充てていたお金を入院費へと回すことになってしまった為、今後の生活に不安を抱いていました。経済的にも精神的にも厳しい状況の中で、このような援助をして頂きました事を心より御礼申し上げます。残りの学生生活を有意義に過ごせるよう、卒業に向けて精一杯学び、将来社会貢献が出来るように頑張っていきたいと思っております。この度は、本当にありがとうございました。

子ども学科奨学生本人

#15

この度は桐光会修学支援奨学金に採用いただき、誠にありがとうございます。父の定年退職に伴い、家計のやりくりが大変になり、学費を納入することも苦難になってしまいましたが、今回採用いただいたことにより、修学を継続できるようになりました。心から感謝申し上げます。残りの大学生活もより一層勉学に励んで参ります。

英米語学科奨学生本人

#16

このたびは、修学支援奨学金を頂きまして誠にありがとうございました。心理カウンセリング学科で4年間学んだ事を、社会に出てから少しでも生かせるように精進したいと思っております。

心理カウンセリング学科奨学生本人

#17

この度は、桐光会の修学支援奨学金に採用していただき誠にありがとうございます。私の家庭は母子家庭で、すでに2箇所からお金を借りていて、とても経済的に厳しかったのですが、今回採用いただいたことで少しでも母の負担を減らすことができるとも嬉しく思います。また無事に就職も決まり卒業単位も取り終え、あと残すところは卒業論文だけなので、きちんと完成させて卒業を迎えたいと思います。残り少ない学生生活ですが、学生のうちにしかできないことなど精一杯やりたいと思います。この度は本当にありがとうございました。

経営学科奨学生本人

#18

この度は、桐光会修学支援奨学金の奨学生として採用して頂き、誠にありがとうございます。私の家庭は母子家庭で、母が病弱のうえ交通事故の後遺症状もあり長期療養中の為、働くことができず経済的に余裕がない状態です。これまでは身内より金銭的な援助を受け、学費にあてていましたが、相手方の事情により支援を受けられなくなってしまい、学納金を納めることが困難な状況にありました。そのような中、桐光会奨学金に採用して頂いたことにより、無事に学納金を納めることができ、安心して勉学に励むことができるようになりました。桐光会奨学金に採用して頂いたことに感謝し、今後もより一層勉学に励み、目白大学に貢献できるよう、努力していきたいと思っております。終わりに、桐光会奨学金に採用して下さった桐光会の皆様、そして学生課の職員の皆様に心より感謝申し上げます。

韓国語学科奨学生本人

#19

この度は、桐光会修学支援奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。母子家庭のため経済的困難な状態が続いていた中で、昨年の夏に母が病気を患い半年以上働くことができず、学納金を納めることが難しくなっていました。就職活動や資格を取得するために必要な実習中でも卒業できるのか不安に思っていました。そんな時に修学支援奨学金のことを知り、申請させていただきました。採用の連絡と採用通知書いただいた時は、とても安心しました。今後も今回支援していただいたことに対する感謝の気持ちを忘れずに、より一層学業に励んでいきます。本当にありがとうございました。

社会情報学科奨学生本人

#20

この度は、桐光会修学支援奨学金に採用して頂き、誠にありがとうございます。御陰様で、最後の学生生活により集中する事が出来るようになりました。就職活動と卒業論文に順調に取り組むことが出来ているのは、桐光会から奨学金を頂き、金銭面の負担を減らして下さったお陰です。これからも目白大学の学生として誇りを持ち、卒業まで学業に励んでいきたいと思えます。この度は本当にありがとうございます。

子ども学科奨学生本人

#21

この度は、修学支援奨学金の奨学生として採用していただき、誠にありがとうございます。私の家は母子家庭です。経済的な面を考えると厳しいのですが、母は私の進学を後押ししてくれました。そのような家庭の事情を抱えながらも、進学を後押ししてくれた母への感謝の気持ちと同時に、それに応えなければならぬ思いから修学支援奨学金に応募しました。無事採用していただき、経済的負担の軽減から精神的にも安心し、気持ちが軽くなりました。それにより勉強に対する意識も高まり、より前向きに取り組むことが出来ています。これからも悔いのない学生生活のために、精一杯頑張ります。ありがとうございました。

生活科学科奨学生本人

#22

このたびは「桐光会奨学金」に採用して頂き誠にありがとうございます。本校で今まで勉強や検定、就職活動を頑張ってきたことをこのような形で評価していただけたことを大変嬉しく感じております。母子家庭で経済的に苦しい中、少しでも母の負担を軽減することができ、とても感謝しています。これからも、今まで以上に学業に励んでいき、無事に本校を卒業し、立派な社会人になれるよう前進していきたいと思っております。最後になりますが、「桐光会」の皆様にご心から御礼申し上げます。

ビジネス社会学科奨学生本人

#23

このたびは修学支援奨学金に採用して下さりまして、本当にありがとうございました。私の家は母1人、子3人で決して余裕のある家庭とは言えません。そのため、留年をするようなことがあれば大学を辞めざるをえないと考え、単位を落とさないよう必死に授業に取り組んでいました。しかし、バイトを増やさなくてはならない状況になると、通学5時間の大学、土日のボーイスカウト活動、少しでも空いた時間があればバイトと休む暇もなく、体調を崩してしまいがちでした。また、どれだけ努力していたところで学費を納められなければ大学へ通うこともできません。今回修学支援奨学金に採用していただいたことで、無事に秋学期の学費を納めることができました。春学期ももう少し頑張ればなんとか学費を納めることができそうです。おかげさまでまだ大学生活が送れます。本当にありがとうございました。

心理カウンセリング学科奨学生本人

#24

この度は、桐光会奨学金に採用して頂き誠に有難うございます。母子家庭で家計が苦しい状況でしたが、応急支援奨学金に採用して頂いたお陰でこれからも目白大学で学業に専念することができ、大変感謝しております。1年生として在籍できることに感謝し、卒業まで目標に向かって何事にも積極的に努力していきたいと思っております。桐光会の皆様、そして、親身に相談に乗ってくださった教職員の皆様には深く感謝しております。本当に有難うございました。

作業療法学科奨学生本人

#25

この度は、桐光会修学支援奨学金に採用して頂き、誠にありがとうございました。私は母子家庭で来年大学受験を控えた弟がおり、経済的に困難な状況にあります。私もアルバイトをしておりますが金銭的な不安は拭うことが出来ませんでした。しかし、桐光会の奨学金に採用して頂き気持ちに余裕が出来、より一層学業に励んでいきたいと思いました。桐光会の皆様、そして相談に乗ってくださった学生課の職員の皆様、心より感謝申し上げます。

韓国語学科奨学生本人

#26

この度は、教育後援「桐光会」の生活支援奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。私の家は母子家庭です。姉も現在大学に通い、弟も高校受験のために進学塾に通い始めたため、経済的に大学に通い続けることが難しい状況でした。しかし、現在こうして充実した大学生活が送れているのも、桐光会の奨学金に採用していただいたおかげと、本当に感謝しています。私は将来、児童養護施設の職員になりたいという夢があります。保育士資格を取得するために座学・実技を通して職員として必要な基礎はもちろん、様々な学問を進んで学び、自分自身の知識を広げていくために前向きな気持ちで勉学に励みたいと思います。今回、教育後援「桐光会」の修学支援奨学金に採用していただいたことに心から感謝しております。この気持ちを忘れずに日々精進していきたいです。

子ども学科奨学生本人

#27

この度は、桐光会修学支援奨学金に採用していただきまして、誠にありがとうございました。今回の奨学金のおかげで母への負担を減らすことができ、非常に感謝しております。また、学納金の心配をすることなく勉学や卒業論文に専念することができ、検定試験にも挑戦することができました。私は現在、メディカル秘書を専攻とし、秘書科目を中心に学んでおります。就職活動も終え、来年度から病院で医療事務として働くことも決まりました。2年次の授業は実践的な内容が多くなっているため、来年度からの仕事に活かすことができるよう学んだことをしっかり吸収したいと思います。また、今回のご支援に恥じぬよう残りの学生生活を真面目に大切に過ごし、学生のうちでしか学べないことや挑戦できないことに取り組みたいと考えております。未筆ながら桐光会役員の皆様に重ねてお礼を申し上げますとともに、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。本当にありがとうございました。

ビジネス社会学科奨学生本人

#28

この度は、桐光会奨学金に採用していただき誠にありがとうございました。母子家庭の中、今までやりくりして学納金を納めていましたが、今年に入って祖父の病気や入院、母も体調不良が続き、予想していない出費がかさんでいました。自分の学費だけでも親の負担の軽減ができないだろうかと思いアルバイトもしておりますが、今後の国家試験に向けての準備もあり、なかなか思うようにはいかない状態でした。今回桐光会奨学金に採用していただいたことで残りの学納金を納めることができ、大変感謝しております。国家試験の合格に向けて、これからより一層力を入れて卒業まで過ごしていきたいと思っております。桐光会の皆様、ご協力いただいた教職員の皆様に重ねて御礼申し上げます。

看護学科奨学生本人

#29

この度は奨学金の支給をしていただき誠にありがとうございます。今回でお世話になるのは2度目ですがとても助かりました。母子家庭なこともあり収入が不安定なことに加え、祖母の体調不良もあり、学費の納入が難しかったためとても助かりました。桐光会の皆様のおかげで無事に卒業できそうと言っても過言ではないのでとても感謝しています。また当奨学金は支給という形なので返済の心配もなく、とてもありがたいです。これからも続く学生のためにこの様な支援活動を続けていただけたらと思います。最後にこの度は本当にありがとうございました。

心理カウンセリング学科

#31

この度は桐光会奨学金制度の奨学生として採用していただき、誠にありがとうございます。大学の入学以前より母子家庭で経済状況も苦しい中、母が大きな病気に罹った時は目の前が真っ暗になるような思いでした。この度、ご支援頂いたことで、学費を納めることが出来ましたので、卒業までより一層勉学に励む所存です。重ねて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

看護学科奨学生本人